

H29年度 学校教育自己診断の結果と分析

内 容	生 徒	保 護 者	教 員
学校への満足度（学校は楽しい、通わせてよかった）	72.3%	88.9%	—
授業への評価（わかりやすい、学力が伸ばされている）	69.4%	81.1%	—
進路指導に対する評価	81.0%	74.4%	94.4%
生徒指導に対する評価	93.9%	87.8%	94.5%
学校行事、部活動に対する評価	84.2%	84.6%	88.9%

- ・「学校へ行くのが楽しい」が昨年より2ポイント減少している原因が「授業がわかりやすい」の2ポイント減少にあるのではないかと推測される。授業改善に取り組んできているが、授業の変革の意義が生徒に周知されていない面もある。
- ・「部活や行事が盛ん」も昨年比で4ポイント下回っている。今年度より7時下校日が設けられるなど部活動の時間が減少したことが要因かと考えられる一方で、保護者の記述欄では部活動の時間が長すぎて学業に影響を及ぼしているとの指摘もある。生徒や保護者のニーズの変化が背景にあるように思われる。
- ・「学習環境が整っている」が全体では昨年に比べて1ポイント上昇してはいるものの学年別にみると、学年が上がるにつれて10ポイント近く低下している。設備や教室内の雰囲気を含めた学習環境を整えて、心地よい環境の中で授業を聴ける体制を作ることが理解力を上げることになり「授業がわかりやすい」ことに繋がっていくと思われる。授業担当者に今まで以上に主体的な学びを展開する授業改善を迫られていることは言うまでもない。
- ・進路指導に対する肯定的な評価について教職員では前年度比4.7ポイント上昇しているのに対し、保護者では16.2ポイント、生徒では2.2ポイント下降している。保護者記述欄からも進路指導に対する物足りなさや充実を要望する声がかがわれている。進路指導に対する要求水準が高くなっていることに対応できていないことと、学校からの情報提供が不十分で進路指導をはじめとする学校の取り組みが保護者に伝わっていないことが原因かと考えられる。また、「授業がわからない」ことから「学力が思うように上がらない」そして「希望の進路を実現できない」に連鎖している生徒が少なからず存在していることも否めない。
- ・「挨拶をする」「遅刻をしないように心がける」「学校のルールは守る」はいずれも昨年を上回っており、年々学校全体の規範意識は高まっている。
- ・HP更新や、メール配信などの保護者への情報提供については7.5ポイント低下し、教職員との間に15.9ポイントの差が生じている。教員が考えている以上に保護者は学校の情報を欲しがっているため、こまめなHP更新とメール配信や学年通信、学級通信を有効に活用することが急務である。